

事業所名

恵の実「ステップくん」

支援プログラム

作成日

2025年

1月

20日

法人（事業所）理念	一人ひとりの意欲を大切に、たくましく、かしこく、優しく育つことを願いながら、発達に弱さを持つ子どもも含め、0歳児から学童、大人まで共に育ち合う共同の子育てを目指します。					
支援方針	<p>①子どもにとっても、保護者にとっても事業所が安心できる場所であり、信頼できる場所となるよう努める。</p> <p>②恵の実っ子クラブと連携した交流活動の中で、子ども同士の関わり合い、育ち合いを大切にし、“人が大好き”という土台を豊かに育てていく。</p> <p>③仲間と共に様々な体験をしながら、主体性と人としての心の豊かさを育てる。</p> <p>④どんなに障がいがか重くとも、人間の育つ道筋は同じである。一人一人の発達に合わせて、ゆっくり丁寧に積み上げていく。</p> <p>⑤職員と保護者が共に子どもの育ちを考え合っていけるよう、保護者の想いを共有し合う機会や保護者が学ぶ機会を設け家族支援を行う。</p>					
サービス提供時間 (放課後開所の場合)	13時	30分から	17時	45分まで	送迎実施の有無	あり なし ※迎えのみ実施。
サービス提供時間 (学校休業日の場合)	8時	30分から	14時	30分まで		
支 援 内 容						
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・年に1度のアセスメントの実施。日常的な健康状態の把握。必要に応じて、健康チェック表を用いて家庭での生活の様子を共有する。 ・「食べる」「寝る」生活リズムを、保護者と一緒に整え維持していく。また、家庭でのテレビやゲームとの付き合い方を一緒に考えていく。 ・希望により、恵の実保育園から手作りのおやつを購入して提供する。（食の広がり、道具を使って試行錯誤する、準備や片付けを仲間と協力して行う） ・身の回りのことを自分でやろうとする意識や意欲を育て、自分のことが自分でできる喜びを育てていく。 ・その子なりに一日の見通しを持ち、自分で考えながら生活する（行動する）力を育てる。（そのために必要な生活の工夫を、その子の力に応じて一緒に考えていく） ・学校休業日には、朝から受け入れをし、自分たちが主人公となって生活を作っていけるよう、子どもたちが中心になって活動を計画していく。 				
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・近くにある赤塚山公園への散歩、定期的なリズム遊び、アスレチック遊びや戸外遊びを通して、しなやかな強い身体と、様々な状況に応じて身体を使いこなせる力を育てる。 ・子どもの意欲のままに、水や土、泥遊びをたっぷり行い、感覚を楽しむとともに変化する素材に働きかけて夢中になって遊ぶ。 ・感覚統合遊びとして、トランポリン、リズム遊び、アスレチック遊びなどを実施。 ・マッサージや足湯、じゃれつき遊びやスキップ遊びなどを行い、心地いい感覚を育てていく。 ・子どもの状況に応じて、姿勢保持装置や歩行器などの補助手段、眼鏡等の補助機器を活用する。 				
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・道草散歩や畑活動、季節に合わせた体験活動（草滑り、焚火、山登り、川遊び、海遊びなど）やニワトリの飼育など、五感を十分に活用した実体験を通して発達を促す。 ・一人一人の発達や趣向に応じた“遊び”を通して、賢さや人と関わり合う力を育てていく。感覚あそび→ままごと遊びやごっこ遊び→構造遊び→集団遊びなど。 ・創作活動…一人一人の力に合わせた素材や道具を使って、手指を使い、表現することを通して達成感を味わい、気持ちのやりとりを楽しむ。マルシェでの作品展示。 ・クッキング…おやつ作りや学校休業日の昼食づくりなどを実施。子どもたちと一緒に計画をし、期待や見通しをもって取り組む。数や量などを学び、誰かが喜んでくれる嬉しさを感じる。また、発達年齢によっては買い物体験にもつなげ、お金の価値や計算を学ぶ。 ・活動計画…仲間と一緒にやりたいことを計画し、実現させていく面白さを感じる。活動や自分自身を振り返る力を発揮させる。 				
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・相手に「伝えたい」気持ちを大事に育てていく。言葉にならない思いも含めて、本人が伝えようとしているサインや行動を受け止め、その背景にある思いに心を寄せ、気持ちのやりとりを支援する。 ・本人が理解をして行動に移せるよう、一人一人の特性に応じた理解の手助けを行う（視覚的支援や小集団や個別での支援など） ・その子なりの言葉ではないコミュニケーション手段を、周りの大人や仲間が理解して気持ちのやりとりができるよう、周囲への働きかけを行う。 ・表出や理解など、自分自身の得意不得意を理解し、うまくいかないことをどうしたらいいのか一緒に考えあい、少しずつ解決策を自分で見つけていけるよう支援する。 				

	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・安心できる大人との信頼関係を基盤として、仲間との関係性を広げていく。「仲間と一緒に嬉しい」「人が大好き」という気持ちを育てていく。 ・遊びや生活、活動や労働を通して、仲間と関わり合い、協力し合って行う経験をし、発達や年齢に応じて、仲間と話し合って決めていくなどの社会性や自治を学ぶ。 ・同法人内の恵の実っ子クラブとの交流活動を行い、本人の持てる力で活動や遊びに参加をしていく。 ・恵の実っ子クラブの仲間、異学年の仲間や保育園児さん等、いろんな年齢の仲間との関り合いをする。上級生に憧れたり、下級生や園児さんに教えてあげる経験をするなど、いろんな自分を発揮していく。 ・思い通りにいかない出来事、仲間との意見のぶつかり合いやケンカを通して、自分とは違う相手の考えを知り、自分を振り返ったり、物事を多面的に考えようとする力につなげる。 ・その年齢にふさわしい体験ができるよう仲間と一緒に企画をする（買い物体験、冒険旅行、合宿など） 		
	家族支援	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所内面談を定期的実施し、家庭や学校での様子や保護者の想いを共有しながら相談援助を行う。兄弟姉妹を含めた家族全体の相談援助を行う。 ・1~2か月に1回茶話会を実施し、保護者同士の交流の機会や子育てや将来に関する学習の機会を提供。 ・保護者の希望により、恵の実っ子や保育園と合同の行事や、恵の実っ子と合同のクラス会の実施等により、いろんな立場の保護者とのつながりを作り深める機会の提供。 	移行支援	<ul style="list-style-type: none"> ・他事業所への移行や新たに他事業所を並行利用する場合等には、他事業所との情報共有や引継ぎ、支援内容のすり合わせ等連携を行う。 ・必要に応じて、子どもが通う学校等と情報連携を行い、本人理解につなげるとともに、支援方法等についてすり合わせを行う。必要に応じて、学校と個別支援計画の共有を行う。 ・子どもが利用する相談支援事業所や保育所等訪問支援等と情報連携を行う。 ・必要に応じて、子どもが通う医療機関との情報連携も実施。
	地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の放課後等デイサービス連絡会に参加し、情報連携すると共に、地域の課題等について考えあっている。 	職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所内研修の実施（虐待防止・感染症対策・BCPなど運営に関する研修、障害特性や発達の視点・支援内容等に関する研修） ・事業所内での外部講師による発達講座 ・外部研修への積極的な参加 ・月に1回以上の会議の中で、研修報告の共有や日々の実践を話し合い学び合う機会とする ・保護者アンケートから支援内容を振り返る
	主な行事等	春／竹の子掘り、草笛コンサート（法人） 秋／リズム講座、マルシェでの作品展示、運動会あそび ※1年を通して 季節の散歩、畑作りと収穫、お誕生日会など 夏／プールづくり、プール遊び、七夕、川遊び、夏休み特別活動（夏祭り、生活合宿、買い物体験、事業所外活動など） 冬／クリスマス会、大掃除、忘年会、お正月遊び、卒所を祝う会		